

北海道学校歯科保健研修会のご案内



演 題：『「生きる力」を育む学校での歯・口の健康づくり』に学ぶ
学校歯科保健活動からスポーツ歯科まで

講 師：公益社団法人日本学校歯科医会・顧問
一般社団法人日本スポーツ歯科医学会・理事長

安井利一先生

1. 学校歯科保健活動の基礎として

文部科学省学校保健統計調査結果によると、むし歯（う歯）については減少傾向が明確で、概ね半数の児童生徒はむし歯（う歯）を経験したことがなく、直近20年間（2001年～2021年）の推移をみると、被患率は、幼稚園で約35%の減少、小学校で約37%の減少、中学校では約43%の減少、高等学校でも約44%の減少がみられている。また、国際比較などでも用いられている12歳児（中学校1年生相当）の一人平均むし歯（う歯）数についても、2001年度で一人平均25本であったが、新型コロナウイルス感染症の関係から直接比較ができないとはいえ、2021年度では0.63本とその差は1.88本である。学校歯科健康診断が「疾病発見」から「健康志向」となり、事後措置と一体となって子どもたちの健康行動を育成するためのスクリーニングになったことは歯科保健ならではの「自律的健康づくり」への確かな方策と言えよう。また、これからは学習指導要領を鳥瞰する学力の三要素についても十分な配慮を行う必要がある。

2. 学校管理下での安全からスポーツ歯科医学まで

体育活動における障害見舞金の給付状況においては学年進行とともに給付者数が増加する。中学生においては「眼の障害」が特徴的であるが、高校生で増加してくるのが「歯牙障害」である。「歯牙障害」による障害見舞金の給付率は全体の21.8%を占めている。また、歯の外傷は圧倒的に前歯に集中していることから、高校生までの子どもたちが早期に前歯を失うことによる摂食機能、発音機能などの障害や審美性の低下などの心身に及ぼす影響は計り知れない。

日 時／令和5年10月7日（土）15：30～17：00
会 場／北海道歯科医師会館（札幌市中央区北1条東9丁目11番地）

参加範囲：歯科医師、歯科衛生士、学校保健関係者など

受講料：無料

申込方法：下記申込書に必要事項をご記入の上、令和5年9月30日（土）までに北海道歯科医師会へFAXにてお申し込みください。

北海道学校歯科保健研修会 受講申込み

所 属：	氏 名：
職 種：	連絡先：

申込先：北海道歯科医師会 事業課 [FAX] 011-271-7514